

2012年
1月号

(財) 箕面市国際交流協会 MAFGA
ボランティア活動情報誌



メロン、丸い形は地球に見える?メロンのようにおいしく、その表面の網目のように
緻密なネットワークを広げるボランティア活動情報誌をめざします!

本号の主な内容

写真ニュース	1~2	12月GC会議報告	8
事務局インターン紹介	2	サワディー・プロジェクトからのご報告	8
新年のご挨拶・1年を振り返って	3~5	私の自慢料理	9
みのお人權フォーラム26th 第6分科会	6~7	協会からのお知らせ・イベント告知	10~11
賛助会員リレー・エッセイ	7	編集後記	12

写真ニュース



恭賀新年



1 DAY フェアトレード・カフェ

12月17日(土)、於: KJ WORKS 「かぐら」

昨年11月より、彩都粟生南で週3日(水曜~金曜)オープンしているチャレンジカフェ。今回は、市内唯一のフェアトレード店「espero (エスペロ)」の店主であり、「みのおフェアトレードの会“楓”」のメンバーでもある斎藤さんの協力を得て、1日限定のフェアトレード・カフェを開催。東チモール産のコーヒーは好評で、ペルーやインドなど発展途上国の生産者の手による食品や雑貨を買い求める客も。フェアトレードを知ってもらう良い機会となった。(岩城)



阪大留学生にインタビュー

12月19日(月) 於: 大阪大学箕面キャンパス

留学生を対象に、住宅やリサイクル物品の斡旋に関するニーズ調査を実施。話をしているうちに出された質問は、「なぜ日本の家は、借りた時に何も無いのか」。海外では家具付きの住宅物件も多いが、日本の部屋は本当に何も無い。(電球やカーテンすら無いことに一同共感)。リサイクルの観点からも、少しは物が残っていてもよいのではないかと考えさせられた。次回は、1月21日



(土)協会で開催。詳細は本誌10頁を参照。(小野)

発行・差出人: 財団法人箕面市国際交流協会 (MAFGA)

〒562-0023 箕面市粟生間谷西1-2-1 箕面市役所豊川支所2階

賛助会員数: 個人会員 297名、法人会員 22団体 (2011年12月末現在)

ホームページ閲覧者数: 681カウント (2011/12/04~2012/01/05)

写真ニュース

震災の中の東北朝鮮学校

12月13日(火) 於: みのお市民活動センター

「小さな声、低い視線」をモットーに設立された韓国の市民メディア「コプレス」が、東日本大震災後の東北朝鮮初中級学校(仙台市)を記録した、自主制作のドキュメンタリー映画を上映。箕面市を中心に人権研修活動を行う「セツパラプロジェクト」が主催し、協会他5団体が後援。上映後はコプレスの朴思柔さんより、「仙台へ行くまでの経緯」や「韓国大手メディアとのやりとり」といった撮影の舞台裏が、笑いあり、無念さありで語られた。(樋野)



みのお人権フォーラム 26th・全体会講演

「震災と貧困から考える社会と人権」 12月3日(土)、於 グリーンホール



講師は、「反貧困ネットワーク」事務局長湯浅誠さん。オープニングの北芝太鼓「鼓吹」の演奏に触れて「太鼓が上手くなろうとする欲求を充たす権利も人権のひとつ」と語り始めた。貧困はそういう人権も危くする。少子化と言う大問題の底流にあるのも貧困。ただ、社会の豊かさは経済だけでは決まらない。お金で測れないもので社会を豊かにするものもあると語る。例えば、震災の被災者は色々な絆で救われたが、その絆はお金で測れない。社会の豊かさとは何か、今何が求められているかを問いかけた講演であった。(萩野) ※第6分科会(12月4日)の様子は本誌6頁～7頁を参照。

～事務局インターン紹介(その3)

小川美優さん～

10月から、毎週水曜日にインターンとして協会に通う、現役の高校生インターン。企業等で長期の実習を行う、箕面東高校のキャリア教育に関する授業の一環として参加。これまでに「多民族フェスティバルの準備&片付け」や「図書整理」など、一日8時間、多忙な事務局をしっかりと補佐してくれている。「実習期間は1月までですが、水曜日に事務所へ来られた方は声をかけて下さい！」(岩城)



ロビーの整理・整頓中にハイポーズ！右側が小川さん。

胃腸科・内科・外科・肛門科・泌尿科

おざわクリニック

診療時間	月	火	水	木	金	土
am9:00~12:00	○	○	○	/	○	○
pm1:00~3:00 (胃カメラ)	□	□	/	/	□	/
pm5:00~7:30	○	○	○	/	○	/

■胃カメラは予約制です。
 ■休診日: 土曜日午後・木曜日・日曜日・祝日
 ■無料駐車場 有
 ■http://homepage2.nifty.com/ozawa-clinic

【住所】〒562-0023 箕面市粟生間谷西3-7-9シャトー野間1F
 阪急バス停留所「喜の前」 スーパーマルヤス向い

(TEL) 072-730-0721

サントリーサンバース
 (バレーボールチーム)の練習

を体育館で見学できます。
 練習スケジュールは、オフィシャルサイトに掲載中！
<http://suntory.jp/SUNBARS/>

サントリー箕面総合トレーニングセンター
 箕面市石丸2-11-1

サントリー箕面総合トレーニングセンター
 TEL 072-729-7324

フェアトレード雑貨

espero

お買い物で国際協力

箕面市粟生外院6-2-4 1
 Tel & Fax : 072-728-1221
 E-mail: info@espero-osaka.com
 URL: <http://espero-osaka.com>

～新しい年を迎えて～



新年のご挨拶

昨年もボランティアをはじめ多くの方々に当協会を支えて頂きました。心から感謝申し上げます。
東日本大震災、中東革命・・・昨年起こった歴史に残る出来事です。その中には色々なことがありますが、一つはこれらの出来事に色々な形で世界からの支援があったことです。感じたのは世界の絆。人、もの、お金、情報、そして人の心も国境を越えてつながっている、そういう世界に我々は生きている・・・と改めて思いました。

今年、協会は20周年を迎えます。20年前はまだバブル景気の余韻が残っていました。資料によると留学生や語学研修生などとの交流に目を輝かせた時代で、ホームステイ引き受けの募集に応募が殺到しています。現在はホームステイの引き受け手は大幅に減っています。これは一つの国際化の成熟過程かもしれませんが、はたして箕面の国際化は20年で進んだのでしょうか。この間、外国人登録者数は2倍近く増え、身の周りには海外の物が溢れ、グローバル化は確実に進みました。しかし、地域の国際化と言う点では、いくつか進んだこともあるものの大きくは外国人市民、一般市民ともに、まだ一部の人たちだけの国際化に終わっているように思えます。

まだまだ地道な努力を重ねなければいけません。先ず市が策定中の新国際化指針に沿って諸事業を着実に進めたいと思います。加えて今年には20周年事業があります。同時に今年には2013年4月からスタートする新法人の準備をする重要な1年であり、新公益法人制度と小野原の新施設(多文化交流センター)への対応に注力します。

忙しい一年となりますが、よろしくご支援のほどお願い申し上げます。

(財)箕面市国際交流協会理事長 荻野克彦

～1年を振り返って～

編集部から、事務局スタッフ、編集ボランティアの皆さんにお聞きしました。質問は、①昨年の協会に関する一大ニュース、②昨年、印象に残ったもの(映画・本など)の2点。読者の皆さんも一緒に振り返ってみて下さい。

協会事務局スタッフ(その1):

- ①7月“箕面まつり”に「ミーゴレン」の屋台を出す。
- ②「大阪・北芝まんだら物語」-明石書店-:
手前味噌で恐縮ですが、編集に自分が関わった地域のまちづくり物語本、5年間かけてやっと発刊。
ぜひ一読を!【井上勉】

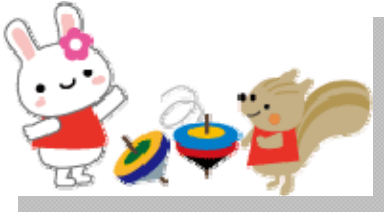


- ①小野原への施設移転(2013年度)が明確化。
- ②漫画「テルマエ・ロマエ」:ローマ時代の浴場設計技師が現代の日本(温泉業界)にタイムスリップする設定が秀逸!【岩城あすか】

- ①8月「多文化ユース・サマーキャンプ」開催!友情はつづく。
- ②小出裕章さん(京都大学原子炉実験所助教)の発言:
原発事故を自分で考えるための情報源として。【河合大輔】

～1年を振り返って～

- ①: 昨年の協会一大ニュース
- ②: 昨年、印象に残ったもの



協会事務局スタッフ(その2):

- ①7月“箕面まつり”初出店 執念の「ミーゴレン」600食完売。
- ②子育てと仕事の両立に追われた一年。最もよく見たのは子どもが退屈しないキッズ関連のDVDと絵本でした。【中村綾】

- ①「1-Day カフェ」の過剰試食により、体重3キロ増。
- ②昨夏より韓国ドラマに夢中：日本の恋愛ドラマは退屈だが、韓国の恋愛ドラマに新鮮さを感じました*^_^*。【宮田長子】

- ①東日本大震災の外国人向けの多言語情報発信に協力。
- ②中国で上映された映画「你是哪里人」（あなたはどこの出身ですか）：北京という大都市の舞台で、異なる地方出身の人々がそれぞれの悩みを抱えながら、生き残るために奮闘する話。【張茜】

- ①多文化な職場で色々考えさせられたこと。
- ②ブラッド・ピット主演の「Tree of Life」と「Money Ball」：私にとって「映画」は「娯楽」だと思い知らされました。【神谷敦子】

- ①「1Day カフェ」実施の紆余曲折。
- ②「エンディングノート」：娘が父親の最期を撮ったドキュメンタリー。久しぶりに出会った心に残る映画でした。【樋野都子】

- ①「アラブの春」情報の流れの変遷。
- ②中国嫁日記：国際結婚をしたオタク（日本人）とその嫁（中国人）の日常。ほんわかします。【小野哲】

- ①「1Day カフェ」の開催。外国人市民が自分の能力を地域コミュニティのなかで生かすことのできる場所。
- ②『選択理論[The Choice Theory by Dr. William Glasser]』Dr.ウィリアム・グラッサー：私たちの考えや行動は、すべて自分で選んだものである。【東堂マリナ】

- ①8月「多文化コース・サマーキャンプ」開催。
- ②『しゃべくりな文字盤屋』：障害者に生まれてきた在日三世・キム・ソニョンさんの笑いと涙の人生エッセイ。【金美英】

- ①「KJワークス（箕面・彩都）」さんと出会い、カフェをオープンしたこと。
- ②『ユダヤ人大富豪の教え』本田健氏の著作：夢を叶える手段の選択肢が広がり、人生の見え方が大きく変わった。【谷充展】

- ①協会職員 河合大輔さんご成婚。
- ②タイの「マサマンカレー」がCNNの世界美食ランキングで1位になったこと：タイが世界に誇れることでとてもうれしい！【パンニー・セーリム】

～1年を振り返って～

- ①: 昨年の協会一大ニュース
②: 昨年、印象に残ったもの

協会事務局スタッフ (その3):

- ① 協会でのインターン。今でも感謝の気持ちを込めて神様にありがとうございますと言いたいです！
② ハリーポッターの最終回：スクール列車が出発する時、私は涙が出た。もう二度とこないと知っていたから。この十年間、私はハリーポッターと共に成長した！ハリーポッターも、少年時代も、さようなら！【毛穎】



- ① 9月から始まった「布アート・プロジェクト」。
② 映画「ハリーポッターと死の秘宝 part2」：3Dの触れるほどの映像をみて、感動しました。これは、10年待った結果です。【楊靈琳】

- ① 緊急雇用事業など多士多様な人材が集い、活気あふれる協会。
② チュニジアで起こった民主化運動「ジャスミン革命」がエジプトなど他のアラブ諸国、そして中国、ロシアへと広がりを見せたこと。【長井正樹】

編集グループ ボランティア:

- ① 「共生」の種まき「布アート・プロジェクト」。(9月～11月) これからの時代を担う子どもたちとその家族が参加したことの意義は大きい。
② NHK・BSのTVシリーズ番組「コスミック・フロント」：第二の地球候補発見等、「宇宙」が気持ちを大きくする。【諏訪忠泰】

- ① 11月多民族フェスティバル 2011 大盛況。
② なでしこジャパン：やはりなでしこジャパンのワールドカップ優勝でしょうか。まさか日本のサッカーが世界一になるとは。朝早くからテレビの前で叫んだのを思い出します。【木戸邦彦】

- ① 寸劇とは言え中学生に扮した荻野理事長が一事務局員にふたれた事。(2月ボランティア総会にて)
② 映画「1911」：よりよい社会をつくる為に多くの人々が流した血と涙、その犠牲の上に私たちの今があることを決して忘れてはいけないんだともう一度考えさせられました。【崔聖子 (チェソンジャ)】

- ① 初めての参加となった、11月「多民族フェスティバル 2011」。
② モーターサイクル・ダイアリーズ：若者二人が南米を旅するロードムービー。もっとわたしが若かったら旅に出てました。【沼田美奈子】

- ① 9月「めろん」読者座談会。初の試みでしたが、和気あいあいとした雰囲気のできたのが良かったです。
② 石光真清『城下の人』『曠野の花』『望郷の歌』『誰のために』：大学最後の年、所属するゼミのテーマは「日本政治史」。石光氏の手記4冊を中心に1年間勉強してきました。何度も読み返し、一緒に過ごしたこの本を、これからも大切にしていきたいです。【野口晴加】

- ① 外国人市民によるコミュニティカフェの定着化。
② 地元市役所(武雄市)のHPがFacebookに完全移行したこと：市民にとって便利な情報提供システムになっているかどうかは今後の検討課題だ。【劉正宜】

外国につながる若者たちが語り合う
「今なら言える。あのとき伝えなかったこと……」



12月4日(日)、らいとぴあ21視聴覚室にて、「在日外国人問題」に関する分科会が開催された。コーディネーターに^{キムカユリ}金香百合さん(HEAL ホリスティック教育実践所所長)、パネリストに外国につながる若者四人を迎え、子ども時代を振り返るパネルディスカッションが行われた。テーマは「今なら言える。あの時、伝えなかったこと」。外国にルーツを持ちながら日本で生まれ育つ若者や、子ども時代に日本にやって来る人達は年々増加している。背景や言葉、文化の異なる彼らは子ども時代に何を感じ、彼らの目に学校や地域はどう映っていたのだろうか。



フォーラムまで

本分科会では、三回にわたる座談会を行い、若いパネリストと共に企画そのものをつくりあげていった。参加者に聞かせるのではなく、「自分達が素直に語り合う姿を提供する」ということをコンセプトにすることで一致。ゲーム形式の自己紹介、自筆プロフィールカードやライフワークシートを作成し、自らを振り返ったり、語り合ったりした。

それぞれの思い

●二歳の頃ペルーからやってきて、小中学校ではいろいろないじめを経験、地域の中で「多文化子ども会」とパンミさん(指導員)に出会うことにより、今現在自分の夢を追いながら、自身も指導員として関わるようになったこと……。

●四歳の頃から日本名を名乗っていたが、ベトナム人としてのアイデンティティに揺れ、親への反抗、自分との葛藤、心の蓋をこじ開けようとする先生からの声かけに反発をおぼえた事、ベトナム人であることを打ち明けることができた友達やいろいろな人との出会いで自分の殻を破り自信を持てたこと……。

●中国残留帰国者三世として14歳の時に来日。自分自身のことよりも、言葉の壁、職場でのいじめなど、相談できる人も無くストレスを抱える両親とのコミュニケーションに悩んだ。親子お互いがもっと理解しあえる気持ちがあったら……。

●小さい頃から韓国の太鼓チャンゴや韓国語を習い、異文化・多文化ということが受け入れられていた環境で育ち、親や学校の先生、同じ立場の人との交流を通して自然体で生きてきたこと……。

質疑応答

「どうしたら学校などで、自分が自分らしく安全安心と思って話したりできるのか」... その質問には、「その子の気持ちになって考えてみたら分かる」「誰か気付いてくれるだけでもすごく支えになる」「自分を表現する場があれば変わっていける」「大人がカチンと決めた交流でなく子どもどうしが自然に交流をする場がたくさんあったらいい」「とてもちっちゃなことでも子どもが発する一つ一つに何かを感じてもらうだけでも嬉しい」などと答えてくれたパネリストたち。

フォーラムを終えて

緊張を持って自分の事を語るという難しいことにあえてチャレンジして下さった若いパネリストの皆さんに、また、包み込むようにやさしく進行して下さったコーディネーターの金さんに、そして、安全で安心できる聞き手として分科会を支えて下さった参加者に出会えたことに感謝したい。

様々な経験、辛い体験も、人との出会いを通して消化しつつある彼ら。両親や関わった人々へ感謝の思いを語るパネリストの飾らぬ、心からの言葉に会場が熱くなった。「偶然の出会い」に頼らなくてもよい社会を切に望む。(金)

参加者の感想から…

- 全てが印象に残るような濃い内容だった。各自様々な悩みを抱えながらもそれに負けず成長してきて、自分もがんばろうと思った。ありがとうございました。(20代)
- 四人の方の宝物をいただいた気持ちです。教室の中でくくりこに在日とかルーツとか言っても様々な思いがあること、それによりそって取り組みを考えることが大切だと痛感しました。(30代)
- 飾らない言葉に感動しました。心の奥の大切な思いを聞かせていただいて本当にありがとうございました。(40代)
- 「相手の立場に立って考えたらわかるはず、相手の気持ちになって関わり方を考える。」ということは簡単なようで難しく本当に大切なことだと思いました。明日から気持ちを新たに人と関わろうと思った一日でした。みなさんありがとうございました。(50代)

賛助会員リレー・エッセイ 第15回



～ボランティア活動は誰のため？ ながのさなえ 永野早苗さん ～

初めまして。私は永野早苗と申します。国際交流協会でお世話になって、まだ2ヶ月程なので、「この人誰？」って思われる方も多いのでは……。今年9月から、火曜木曜の日本語教室での保育ボランティアと金曜日の日本語交流「ひまわり」でのお手伝いをさせてもらっています。

まずは、私がこちらでボランティアに参加させてもらうきっかけからお話させていただきます。実は、私は15年間転勤族の妻として福岡・神奈川・静岡と大阪を離れて暮らしていましたが、今年の春の長女の中学入学に合わせて、主人の実家がある箕面市に引っ越してきたのです。私は元々大阪育ちでしたが、箕面市は初めて……。親戚以外は全く知り合いもいなくて、引越してきて暫くは色々とバタバタしていましたが、生活と子供達の学校が落ち着くと平日の昼間は人と接する事がない日もしばしば。

そんな時に、こちらでのボランティア説明会の募集で、私と同じ境遇の高橋さんと一緒にお話を聞き、ボランティア登録をする事になりました。まだ、賛助会員になっても間もないですし、ボランティア活動も少ししか参加できていませんが、「多民族フェスティバル」では「布アート」で小学校にお手伝いに行ったり、フェスティバル当日には保育ボランティアとしてステージに上がらせてもらったり、「ひまわり」の屋台のお手伝い等、自分の可能な限りで参加させ

てもらっています。

実際に活動に参加してみて感じた事は、「保育」と「ひまわり」両方とも言えることですが……



他国の方はもちろん、色んな年代・個性豊かなボランティアの方々と接する事で、色んな国の文化を知ることができたり、人生経験豊かな方々の色んなお話を聞く事が出来て、とても刺激をもらっています。今では私にとっては、「人の為」→「自分の為」のボランティア活動になっている様な気がします。こちらのボランティアに参加されている諸先輩方の中には、他国に旅行に行かれたり将来他国に旅行に行く為に英会話を勉強したりされている方が沢山います。

私も11月からこちらでの英会話に参加して、学生時代以来の英会話の勉強に四苦八苦しています。将来、私も子供達の手が離れたら、こちらで出会った他国の方々の国を実際に訪れて、色んな景色&文化を自分の目で見てみたいなあ。と思っています。

会議報告

～今年のボランティア総会をどうするか？～

いつもは各グループの活動状況を報告しあうグループコーディネーター会議だが、今月は2月に開催する「ボランティア総会」に向けての相談となった。

ボランティア総会は2006年から、毎年かたちを変えながら続けられてきた年1回のイベント。普段はそれぞれのグループで活動しているボランティアと会員が、みんなで集まり、協会の事業について語り合い、深めていくことが目的。これまでは「協働と参画」をテーマにした講演を聞いたり、市の職員と補助金削減問題についてパネルディスカッションをしたり、外国人市民の想いを聞いたり、また「ボランティア憲章」をつくるための議論をメインにしたり、その年ごとに特色ある取り組みを行ってきた。



今年は多民族フェスティバルをたくさんのボランティアの参加で成功させた。その流れを、来年の20周年記念事業につなげていきたい。さてどんな「総会」がよいだろう。協会についての様々な問題意識を出し合った結果、今回は協会の20周年をふりかえる前に、各人がボランティア活動をしてきた時間をふりかえる場にしよう、ということになった。事務局から今年度の活動報告をした上で、じっくり参加者どうしで語り合う時間を持つ。気軽な気持ちで、ぜひ参加してほしい。(河合)

サワディー・プロジェクトからのご報告

去る7月26日メイプルホールにおいて、村越姉妹による(箕面市粟生間谷出身、ミラノ在住)第5回目のチャリティーコンサートを開催いたしました。

当日は、ほぼ満席約500名近くの方にお越し頂き、タイの領事館からのご丁寧なご挨拶の後、素晴らしい演奏に合わせた「ふるさと」の合唱で会場が一体となり、大成功で終ることができました。今回の皆様のご協力による収益金は、タイの子供達だけでなく、東日本大震災で被害を受けた女性と子供達への義援金としてYWCAを通じて30万円を寄付させて頂きました。その後、思いがけずおきましたタイの洪水に対しても20万円をタイの領事館を通して子供達への義援金として送らせて頂きました。

私たちサワディー・プロジェクトは、使い終わった絵本をタイ語に訳したシールを貼ってタイに贈るボランティアを中心として活動を続けておりますが、国際交流協会、箕面クリーンセンターを始め、多くの皆様にお力添えを頂いております。ご協力くださった皆様、そして、コンサートに足をお運びくださった全ての皆様に心より感謝いたしまして、ご報告とします。

サワディー・プロジェクト代表 川井ピヤラット



副領事、ウランワン クーハブレマさん(右から二番目)と



左、妹 伸子さん・右、姉 知子さん

特定非営利活動法人
暮らしづくり
ネットワーク
北芝



おかげさまで
10周年!

- らいとびあ21 指定管理
- 参加型コミュニティカフェ NICO plus
- 新鮮野菜の芝楽市
- 駄菓子のお店 楽駄屋

<http://www.hcn.zaq.ne.jp/kurashi-net/>

わたし じま んりょうり
私の自慢料理(26) かんこくへん
韓国編

韓善喜 (ハン・ソンヒ) さんの
 はんりゅう
「韓流わかめスープ」

今回は韓国風わかめスープを紹介しします。韓国では誕生日に白米とこのスープを食べる習慣があるとのこと。また子どもを産んだ母親は、1ヶ月程度はこのスープを飲むのだそうです。わかめにはカルシウムやミネラルが豊富なため、血圧をさげたり便秘予防にもおすすめです。

ざいりょう にんぶん
材料 (人分)

乾燥わかめ	10g
牛肉	100g
ごま油	大1,1/2
水	6カップ(1200cc)
すりおろしニンニク	小1
うすくち醤油	大2
こしょう	少々

つく かた
【作り方】

- 乾燥わかめを水でもどし、よく洗い適当な長さに切る。
 - 牛肉は細かく千切りにし、ボールにごま油とこしょうを入れ下味をつける。
 - 鍋に2を入れ、肉の色が変わりはじめたら1のわかめを入れて炒める。
 - 3の鍋に水を加え、強火で煮る。沸騰したらんにくを入れ、うすくち醤油で味を整えれば完成！！
- *わかめスープは長く煮る程味がでるので、弱火でことこと煮込むとより美味しいです。(くにやろ)



ていきょうしゃ
【レシピ提供者】

韓善喜(ハン・ソンヒ)さん。大韓民国 大田(テジョン)出身。
 おおさかだいがく はたら おっと とも ねん がつらいにち
 大阪大学で働くことになった夫と共に、2009年11月来日。
 きょうかい にほんご べんきょう たげんごせいかつじょうほうし
 協会では日本語クラスで勉強をしながら、多言語生活情報誌
 かんこくごほんやく つと
 『MINOH POST』の韓国語翻訳ボランティアも務めています。



Community Architect for Shelter and Environment

CASE-Japan

CASE <有限会社ケース一級建築士事務所>
 まちづくり研究所

『ご近所の底力』を生かしたまちづくりを支援します

『であい』と『つながり』をつむぎ、元気になるまちづくりをめざして

『時』を組み込んだ『縮尺』で空間をデザインします

既存建物のリノベーション(リフォーム)・コンバージョンからコーポラティブ住宅やコレクティブハウジング等の新しい住み方の提案まで

〒533-0031 大阪市東淀川区西淡路1丁目3-26 弥生新大阪第一ビル401
 TEL: 06-6325-2299 / FAX: 06-6325-2254
 E-mail: seiji@case-jp.com URL: www.case-jp.com
 豊中事務所: 〒560-0013 豊中市上野東1-17-6



連絡先 寺川 政司
 SEIJI TERAKAWA

箕面市国際交流協会からのお知らせ



お問い合わせは協会までお願いします。

セミナー

■何が変わる？改正入管法・外国人登録法

2012年7月からの外国人登録法の廃止と新たな在留管理制度の実施に伴う変更点とその課題

日時：1月21日(土) 13:30~15:00

場所：箕面市国際交流協会

講師：早崎直美 (RINK すべての外国人労働者とその家族の人権を守る関西ネットワーク事務局長)

資料代：300円

共催：みのお外国人医療サポートネット

申込み・問合せ：箕面市国際交流協会

■留学生などを対象とした「意見交換会」

大阪大学の関係者(外国人市民)を対象に「リサイクル(リユース)物品や住宅の斡旋」に関する意見交換会を行います。

日時：1月21日(土) ①10:30~12:00

②13:00~14:30

場所：箕面市国際交流協会

対象：留学生や研究生およびその家族など外国出身者

申込み・問合せ：箕面市国際交流協会

※予約してから来られた人には、交通費として1,000円分のラガールカードをお渡しします。(ただし、1人1回各回先着10名のみ)

■在住外国人との語り合いカフェ

今年度最後の「オレンジカフェ」です。テーマは「同調意識」「言葉」「家族」など。地域で暮らす外国人市民と共に考え、語りあいましょう。

日時：1月25日(水) 18:00~21:00

場所：大阪大学豊中キャンパス 基礎工学部I棟 1階「CSCD オレンジショップ」

参加費：無料

定員：30名(子供連れ参加OK、先着順)

申込み・問合せ：箕面市国際交流協会

■世界をつまみ食い！1DAY カフェ

外国人市民が様々な母国料理を提供します。おいしく楽しく箕面の国際化を感じてみませんか。

①世界のヌードル(ベトナム・フエの肉麺、韓国
の温麺、ロシアのショートパスタ)

日時：1月28日(土) 11:00~15:00

値段：ランチ780円~、ドリンク300円程度

②トルコのランチ、世界のスイーツバイキング

日時：2月25日(土) 11:00~16:00

値段：ランチ880円、スイーツバイキング
1,500円

場所：参加型コミュニティカフェ「NICO plus(ニコプラス)」(箕面市萱野2-11-4)

値段：①ランチ780円~、ドリンク300円程度

②ランチ880円、バイキング1,500円

申込み・問合せ：箕面市国際交流協会

■ホストファミリー募集&説明会(交流会)

2012年春に来日する留学生のホストファミリーの募集と、宿泊を伴わない留学生との交流活動の説明、ホストファミリー同士の意見交換・交流会(同封のチラシをご覧ください)

日時：①1月27日(金) 18:30~19:30

※プログラム説明のみ

②2月4日(土) 13:30~15:00

※プログラム説明とホストファミリー交流会

場所：①みのお市民活動センター小会議室(箕面市坊島4-5-20 箕面マーケットパーク・ヴィソラWEST1, 2階)、②箕面市国際交流協会

対象：初めてホームビジット活動に参加する方および現在ホームビジット活動をされている方

参加費：無料

申込み・問合せ：箕面市国際交流協会

■豊能ブロック 識字・日本語交流会

箕面市、豊中市、能勢町での識字教室における実践例を発表し、交流会を行います。

日時：1月29日(日) 10:00~12:00

テーマ：「文字・ことばを勉強する中で感じたこと、エピソードを語り合おう」

場所：市立市民会館(グリーンホール)(箕面市役所の隣)

参加費：無料

申込み・問合せ：箕面市国際交流協会

国際交流・ボランティア情報

申込み・お問い合わせは各団体までお願いします。



■東小コミュニティセンター「もちつき」

日時：2月5日（日）10：00～15：00

場所：東小コミュニティセンター「みどりの家」

内容：和太鼓演奏（オープニング）、もち・綿あめのふるまい（なくなり次第終了）

参加費：無料

感じる・ふれあう・助け合う

世界につながる国際協力のお祭り

■ワン・ワールド・フェスティバル

今回で19回目を迎えるフェスティバルでは、被災地の支援に携わった団体の活動を紹介するコーナーや、被災地の子どもたちが未来に向けたメッセージを絵を通して表現した「絆」の絵の展示などを行います。またルー大柴さんのトークショーやWFP（国連世界食糧計画）のオフィシャルサポーターの富永愛さんのトークショーなど、2日間にわたり様々なプログラムを実施します。また、民族音楽・踊りのステージや民族料理の模擬店をはじめ、アジアの遊び等を体験できるコーナーなど盛りだくさんの内容で、気軽に参加し楽しみながら国際協力を身近に体験していただけます。

日時：2月4日（土） 10：00～17：00

2月5日（日） 10：00～16：00

場所：大阪交流センター（天王寺区上本町8-2-6）

申込み・問合せ：ワン・ワールド・フェスティバル
実行委員会事務局

フェスティバル専用 TEL：080-6130-2605

FAX：06-4395-1125

E-mail：onefes@interpeople.or.jp

http://www.interpeople.or.jp/owf/

ユーラシア文化サロン

■1990年以降のモンゴル

モンゴルの社会主義はどうなったか？

1921年の民族解放運動後、社会主義の道に入ったモンゴル。1980年代末の「モンゴル民主化運動」を経て「モンゴル憲法」（1991年）が施行されましたが、現代モンゴルの事態は混乱を極め、貧困化と一部の層の富裕化が同時進行し、1990年以前に政権を独占してきた政党が政権を掌握し

ています。その成果と問題点を検討します。また、潜在的「資源大国」といわれる現状を解説し、今後の行く末を展望します。

日時：1月22日（日）14：00～16：00

場所：ユーラシア文化サロン（日本ユーラシア協会大阪府連内）

参加費：一般1,000円、学生500円

講師：村井宗行さん（モンゴル国立大学モンゴル言語文化学部教授）

申込み・問合せ：日本ユーラシア協会大阪府連

（TEL：06-6763-0877）

多文化共生施策担い手連携推進事業

■「東北地方太平洋沖地震多言語支援センター」 ふりかえり in 関西

ふりかえりを通し、「東北地方太平洋沖地震多言語支援センター」のノウハウを広く関係者の皆様と共有し、また関係者とのネットワークづくりの契機として、今後の災害時対応の充実に役立てていただければと思います。ゲストに難民支援協会の石井事務局長をお招きし、取り組みについてお話をうかがいます。

日時：1月26日（木）13：30～16：30

（13：00開場）

場所：大阪国際交流センター3F 会議室1・2

内容：【基調講演】「東日本大震災支援の取り組み」
東北地方太平洋沖地震多言語支援センター ふりかえり

【グループワーク】「東北地方太平洋沖地震多言語支援センター運営に関わって」（課題共有と今後に向けての意見交換）

定員：40名

申込み：（財）大阪国際交流センター 情報

FAX：06-6773-8421

E-mail：kishi@ih-osaka.or.jp

問合せ：（特活）とんだばやし国際交流協会

TEL/FAX：0721-24-2622

E-mail：ticc@m4.kcn.ne.jp

ボランティア説明会&発送おしゃべりサロン

★ボランティア募集！

本誌「めろん」の発送作業をしながら、みんなで楽しくおしゃべり&交流しませんか？
協会のボランティア活動に興味のある方には活動内容についてもご紹介します。初めての方もぜひご参加ください！

【日時】2月7日（火）13：00～14：30

【場所】箕面市国際交流協会

【申込】協会まで

★賛助会員募集中！

◆特典：当情報誌「めろん」を毎月お送りします。

国際理解のための語学講座や各種セミナー、イベントの参加費が割引されます。

◆会費：個人会員 年間1口 4,000円（外国人市民、学生、会員の家族は2,000円）

法人会員 年間1口 10,000円

◆納入方法：ゆうちょ口座 00970-2-133145

加入者名 財団法人箕面市国際交流協会

編集後記

●今年もおでんの季節。例年になく、特に今年はコンビニなどでもついつい買ってしまふ。おでんといえば、大根。これは外せない。しかし、おもしろいもので、子供のころを振り返ると、自分の中でのナンバーワンが変化してきている。

●昔はこんにゃくが断トツのトップ。からしをたっぷり塗って、涙目になりながらほおばっていた。その次にハマったのがたまご。完熟のパサパサの黄身とだしのコラボレーションがたまらない。ただ実家のおでんは、たいがいたまごは一人一つ計算で作るので、いつも勝手に二つ食べては怒られていた。たまごは場所を取るだのなんだのと、今でも数は増えていない。代わりに弟も大学生になり、一緒に食事をする事も減ったので、自分の取り分をしっかりと増やすことには成功。

●たまごが中高～大学くらいまで約10連覇くらいしていたのだが、ここ2、3年はランキング上位に変動がおきている。大根の台頭である。ぶり大根の主役が大根というのは疑いようのない事実であるが（ややオーバーワーク）、あるお店で本当に旨いぶり大根を食べたが最後、大根にゾッコンとなってしまったのである。

●一度、法善寺横丁の飲み屋でおでんをいただいたことがある。確か去年のクリスマスだったが、おでんにはやっぱり熱燗がいい。なにより風情が感じられる。大して飲めなくせに、一丁前に「あ、あと熱燗で」と頼むのも、大人の男になった気分が味わえていい。でもすぐに化けの皮をはがされることになり、おかみさんと話しているうちに一度は「あんたもっとシャンとしなさいよ！」と、実の子供でもないのに説教を食らう。当然その返事には、「じゃあとりあえず、大根もう一つ」と注文するのがマナーある。（谷）

「めろん」編集スタッフ

ボランティア：荻野克彦、諏訪忠泰、崔聖子、木戸邦彦、野口晴加、沼田美奈子、劉正宜

事務局：井上勉、岩城あすか、河合大輔、神谷敦子、樋野都子、谷充展

連絡先：（財）箕面市国際交流協会 Tel:072-727-6912, Fax:072-727-6920, Email:info@mafga.or.jp